

湖南省地域自然エネルギー地域活性化戦略プランの改定にあたって

1. 改定にあたって

湖南省では、地域での自然エネルギーの活用について、市、事業者および市民の役割りを明らかにするとともに、地域が主体となった取り組みによる地域社会の持続的発展に寄与するため、平成 24 年 9 月に「湖南省地域自然エネルギー基本条例」を制定しました。

本条例に掲げる基本理念に沿って、地域の資源を活かした自然エネルギーの積極的な活用を努め、地域が主体となった取り組みを推進するため、平成 27 年 2 月に「湖南省地域自然エネルギー地域活性化戦略プラン」を策定しました。

プラン策定後、官民連携のもと、各プロジェクトを推進してきましたが、プラン策定から 5 年が経過しようとしており、社会情勢の変化や本市を取り巻く課題に対応し、持続可能な社会と地域循環共生圏の実現を目指すために、改定するものです。



2. 改定の視点

①上位関連計画との整合

プラン策定後、上位関連計画が改定・策定されており、それらとの整合を図ります。

- ・湖南省きらめき・ときめき・元気再生総合戦略（平成 27 年 10 月）
- ・第二次湖南省環境基本計画（令和元年 10 月） 等

②プラン策定後の各プロジェクトの進捗を踏まえた改定

プランに位置付けられた各プロジェクトの進捗や成果、今後の方向性を踏まえて、プランへ反映を行います。（資料 4-2）

③新しい視点の追加

- ・地域循環共生圏の創造（湖南省版シュタットベルケ構想）の視点
- ・持続可能な開発目標（SDGs）への対応
- ・地球温暖化対策計画（区域施策編）としての位置付けプラン

3. 構成（案）

現行プラン	改定の方角性	新プラン
1. 策定にあたって (策定の背景、意義、プランの位置付け、対象期間、対象とする自然エネルギー等の範囲)	※上位関連計画の内容を追記	1. 策定にあたって (策定の背景、意義、プランの位置付け <u>(上位関連計画の整理)</u> 、対象期間、対象とする新エネルギー等の範囲)
2. 湖南省の地域特性 (人口・世帯、産業構造、エネルギー消費量、自然エネルギー等を活用した取り組み状況)	※温室効果ガスの排出状況を追加 ※現プランに基づく取り組み状況を追加	2. 湖南省の地域特性 (人口・世帯、産業構造、エネルギー消費量、 <u>温室効果ガス排出量</u> 、 <u>現プランに基づく取り組みの状況</u>)
3. 基本方針 (理念、基本方針、各主体の役割)	※地域循環共生圏の創造 (湖南省版シュタットベルケ構想)、SDGs の視点を追記	3. 基本方針 (理念、基本方針 (<u>湖南省版シュタットベルケ構想 (曼荼羅図) の追記</u>)、各主体の役割)
4. 振興方策		4. 振興方策
5. 振興方策を踏まえた具体的な取り組み	※各プロジェクトの進捗状況や今後の方針を反映 ※新しい取組の追加、取組が難しいプロジェクトを廃止など。	5. 振興方策を踏まえた具体的な取り組み
6. プランの推進に向けて (進行管理、推進体制)		6. プランの推進に向けて
資料編		資料編